



令和 5 年の成田国際空港における不正薬物密輸入事犯の取締り状況

不正薬物の押収量 過去 10 年で最多

～不正薬物の密輸入事犯 143 件摘発 押収量約 580Kg～

令和 5 年に摘発した不正薬物の密輸入事犯は、摘発件数 143 件（前年比約 63%増）、押収量約 580kg（同約 3.1 倍）であり、過去 10 年で最多であった。

内訳は、覚醒剤 82 件（同約 58%増）/約 451kg（同約 2.8 倍）、大麻 17 件（同約 21%増）/約 86Kg（同約 129 倍）、麻薬 43 件（同約 2.9 倍）/約 43kg（同約 81%増）であった。

形態別では、航空旅客 114 件（同約 2 倍）/約 403Kg（同約 3.9 倍）、航空貨物 29 件（同約 9%減）/約 177Kg（同約 2.1 倍）であった。

◎覚醒剤密輸入事犯の動向

- ◆ 密輸形態は、航空旅客による摘発件数が 59 件（同約 84%増）、押収量が約 277kg（同約 3.3 倍）であり、航空貨物による摘発件数は 23 件（同約 15%増）、押収量は約 173kg（同約 2.3 倍）であった。
- ◆ 覚醒剤の仕出地は、アメリカが 20 件（約 24%）、メキシコが 16 件（約 20%）、カナダが 14 件（約 17%）、押収量は、メキシコが約 164Kg（約 36%）、カナダが約 119Kg（約 27%）、アメリカが約 82Kg（約 18%）と 3 か国で大半を占めた。
- ◆ 隠匿手口は、スーツケースの隠匿工作、嚙下、身辺への巻付け、食料品への偽装工作など多様な方法が用いられ、大口傾向が見られた。

◎大麻密輸入事犯の動向

- ◆ 密輸形態は、航空旅客による摘発件数が 17 件（同約 55%増）、押収量が約 86Kg（同約 203 倍）であり大幅に増加した。航空貨物による摘発件数は 0 件であった。
- ◆ 大麻密輸入事犯のうち、大麻草の摘発件数は 11 件（同約 57%増）、押収量が約 65Kg（同約 117 倍）、大麻樹脂（大麻リキッド等の大麻製品を含む。）の摘発件数は 6 件（同約 14%減）、押収量が約 21Kg（同約 191 倍）であった。
- ◆ 大麻の仕出地は、カナダが 6 件（約 35%）、アメリカが 4 件（約 24%）、押収量は、カナダが約 55Kg（約 64%）、アメリカが約 31Kg（約 36%）と北米 2 か国でほぼ全体を占めた。
- ◆ 隠匿手口は、スーツケースやバッグ内に衣類等で覆う単純なもので、大口が主であった。

◎麻薬密輸入事犯の動向

- ◆ 麻薬密輸入事犯のうち、コカイン密輸入事犯の摘発件数は 32 件（同 4 倍）、押収量は約 33kg（同約 69%増）であった。
- ◆ コカインの仕出地域は、中南米が 19 件（約 59%）、押収量は、約 24Kg（約 72%）と大半を占めた。
- ◆ コカインの密輸形態は、航空旅客による摘発件数が 31 件（同約 4 倍）、押収量が約 33kg（同約 74%増）であり、航空貨物による摘発件数が 1 件（同増減なし）であった。
- ◆ 隠匿手口は、嚙下、身辺への巻付けなど巧妙なものであった。

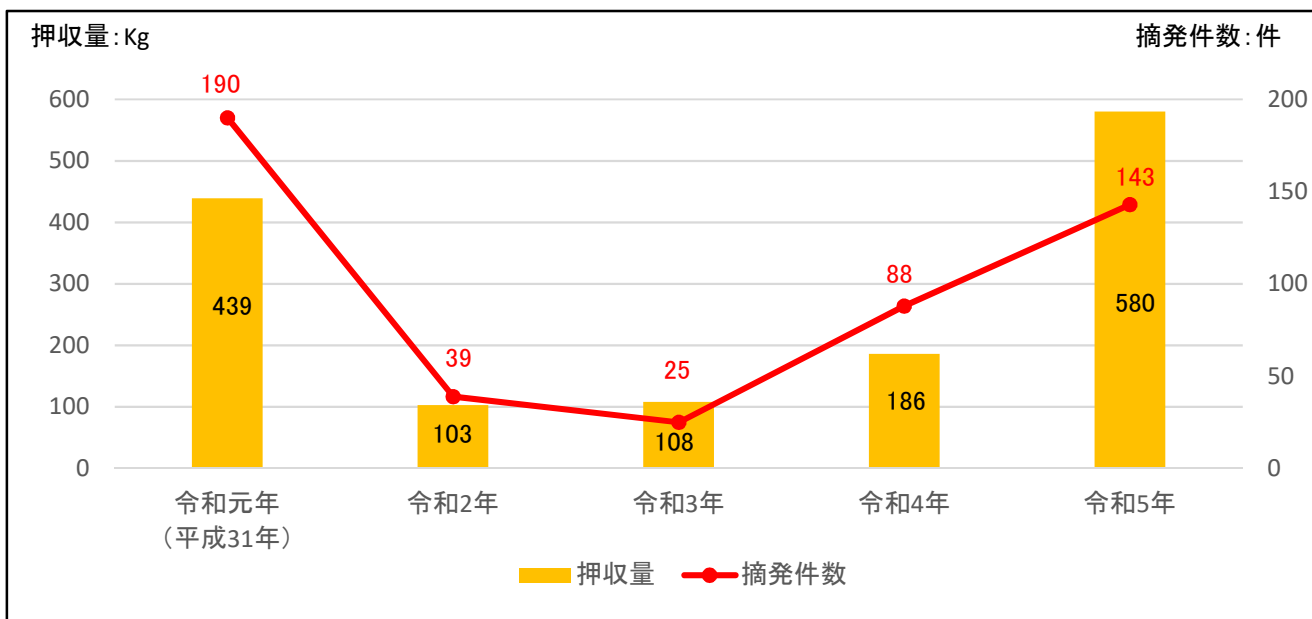
1. 社会悪物品の摘発実績

種類	年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	前年比
		覚醒剤	件	144	14	11	52
	kg	394	83	84	161	451	281%
大麻	件	14	17	6	14	17	121%
	kg	12	9	21	1	86	129倍
大麻草	件	11	5	1	7	11	157%
	kg	11	3	0	1	65	117倍
大麻樹脂	件	3	12	5	7	6	86%
	kg	0	6	21	0	21	191倍
あへん	件	-	-	-	-	-	-
	kg	-	-	-	-	-	-
麻薬	件	27	7	7	15	43	287%
	kg	26	11	3	24	43	181%
	千錠	37	-	0	2	15	760%
ヘロイン	件	-	-	-	-	-	-
	kg	-	-	-	-	-	-
コカイン	件	15	6	3	8	32	400%
	kg	26	11	1	20	33	169%
MDMA等	件	6	-	1	4	6	150%
	kg	0	-	-	0	9	153倍
	千錠	37	-	0	2	15	760%
ケタミン	件	6	1	2	3	5	167%
	kg	0	0	2	4	1	25%
その他麻薬	件	-	-	1	-	-	-
	kg	-	-	0	-	-	-
	千錠	-	-	-	-	-	-
向精神薬	件	-	-	-	-	1	全増
	kg	-	-	-	-	-	-
	千錠	-	-	-	-	0	全増
指定薬物	件	5	1	1	7	-	全減
	kg	7	0	0	1	-	全減
合計	件	190	39	25	88	143	163%
	kg	439	103	108	186	580	311%
	千錠	37	0	0	2	15	760%
銃砲	件	-	-	-	-	-	-
	丁	-	-	-	-	-	-
うち拳銃	件	-	-	-	-	-	-
	丁	-	-	-	-	-	-
拳銃部品	件	-	-	-	-	-	-
	点	-	-	-	-	-	-

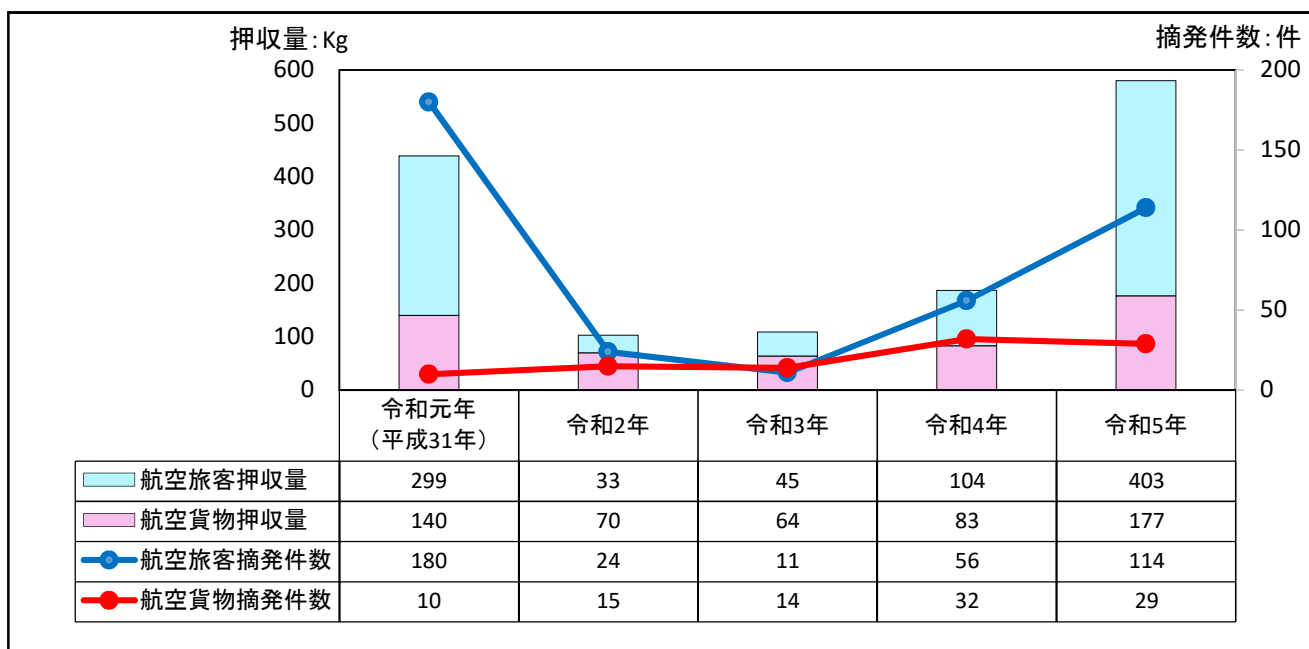
- (注)
1. 税関が摘発した密輸入事犯の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。
 2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計を示す。
 3. 大麻樹脂は、大麻樹脂その他の大麻の製品の合計を示す。
 4. MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計を示す。
 5. 端数処理のため数値が合わないことがある。
 6. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
 7. 令和5年の数値は速報値である。

2. 不正薬物摘発実績(令和元年から令和5年)

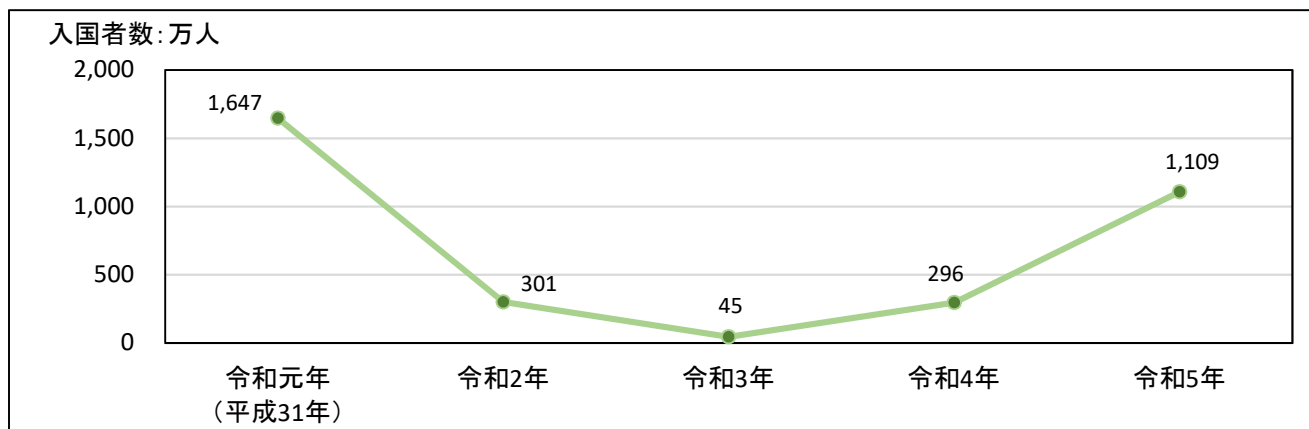
●摘発件数・押収量



●形態別摘発実績



【参考】入国者数の推移(令和元年から令和5年)

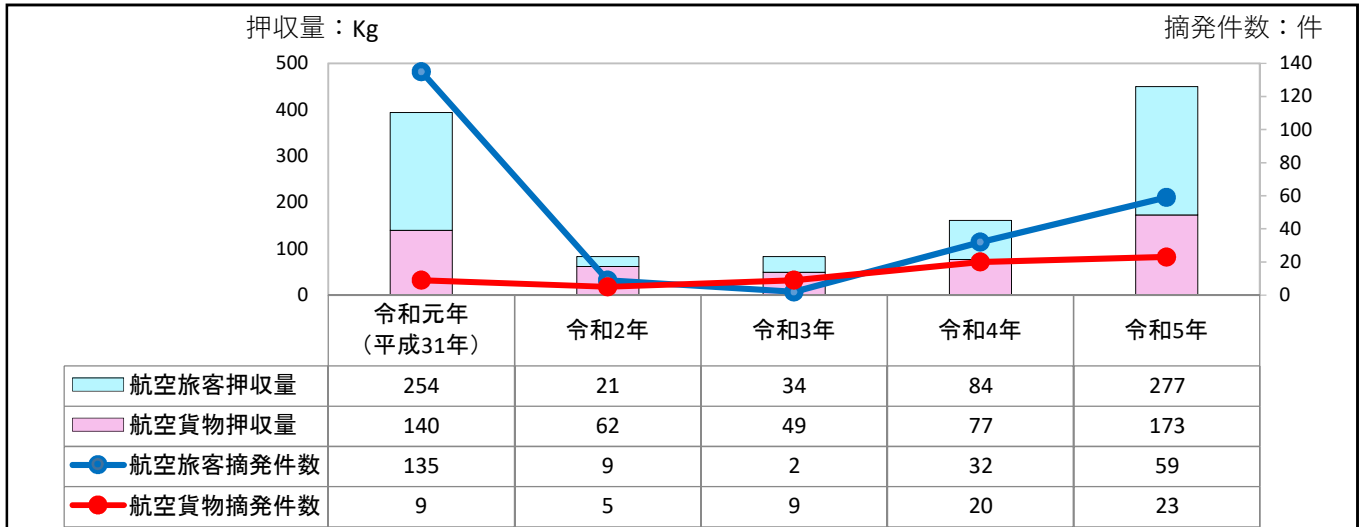


(出典) 出入国在留管理庁 出入国管理統計

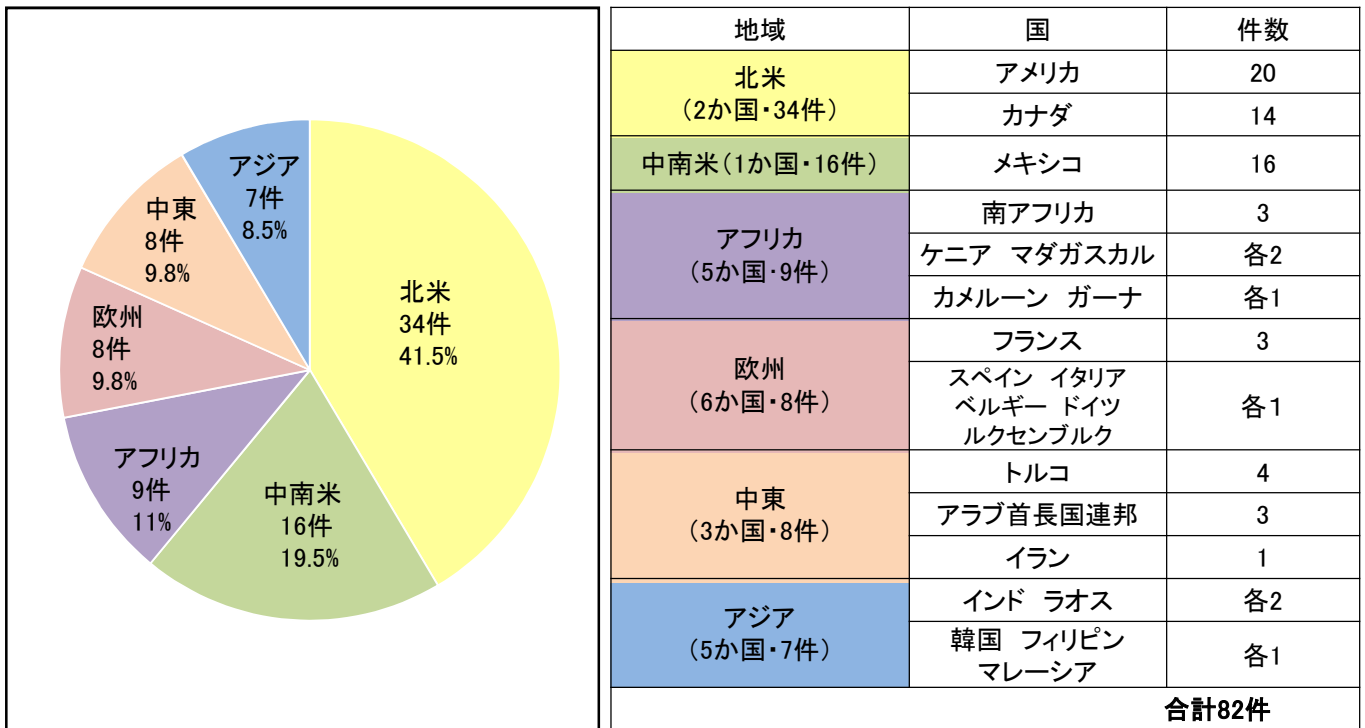
※令和5年は速報値

3. 覚醒剤の摘発状況

●形態別摘発実績

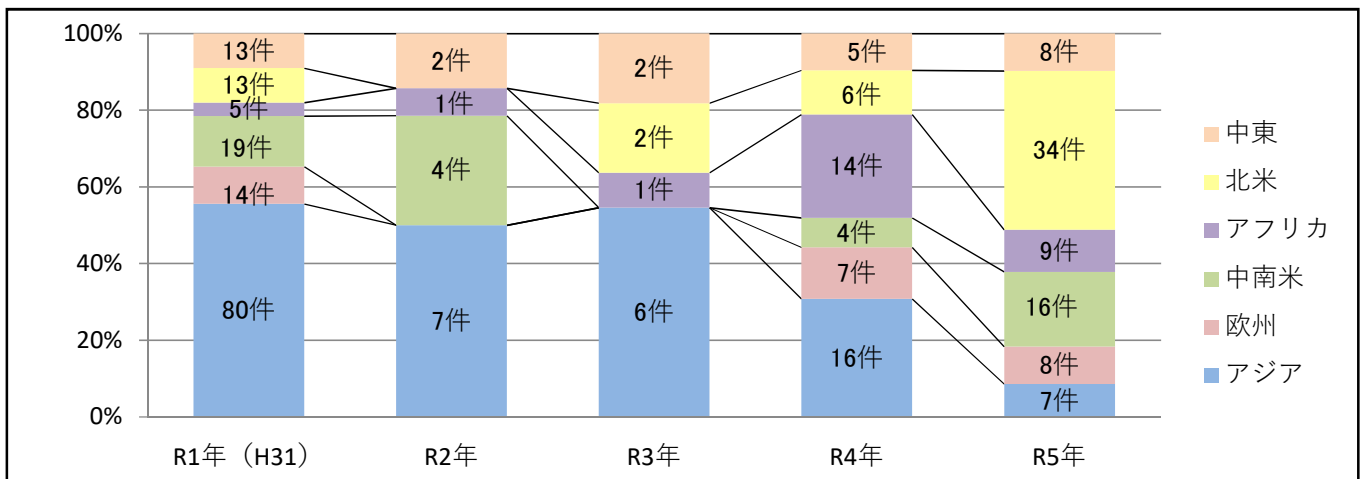


●仕出国別摘発件数

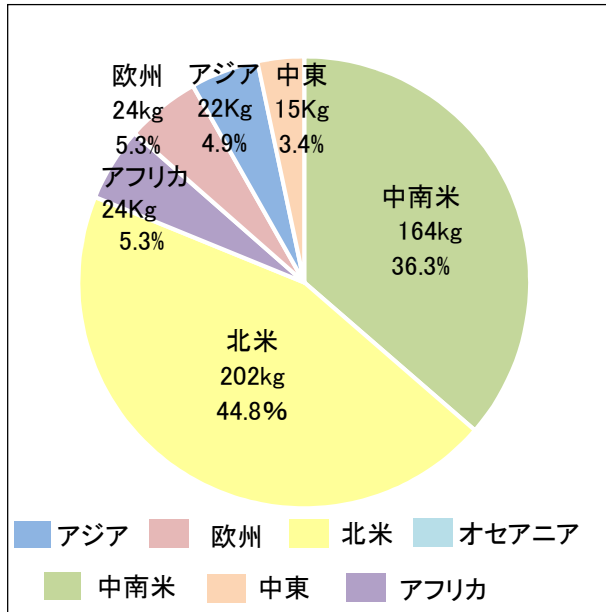


※端数処理のため、数値が合わないことがある。

●仕出地域（推移）



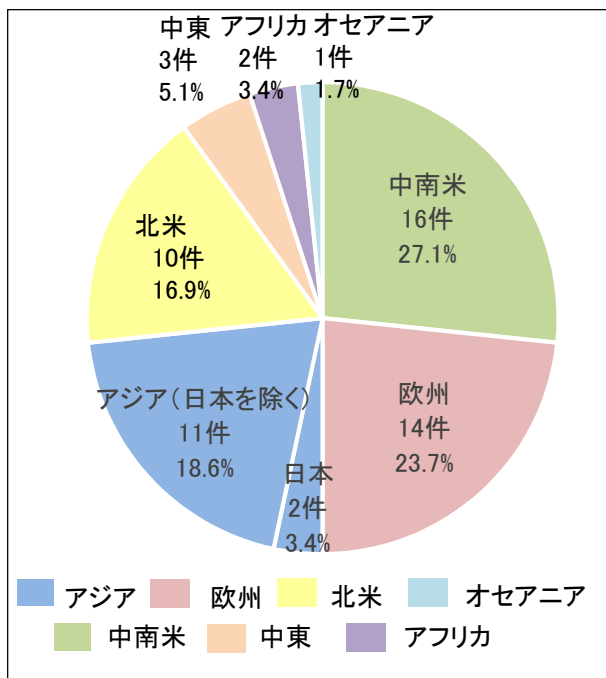
●仕出国別押収量



※端数処理のため、数値が合わないことがある。

地域	国	押収量 (Kg)
中南米 (1か国・164Kg)	メキシコ	164
北米 (2か国・202Kg)	カナダ	119
	アメリカ	82
アフリカ (5か国・24Kg)	南アフリカ	14
	ケニア マダガスカル カメルーン ガーナ	10
	スペイン	10
欧州 (6か国・24Kg)	フランス	7
	イタリア ベルギー ドイツ ルクセンブルク	7
	マレーシア	10
アジア (5か国・22Kg)	インド	5
	ラオス 韓国 フィリピン	7
	トルコ	9
中東 (3か国・15Kg)	アラブ首長国連邦 イラン	6

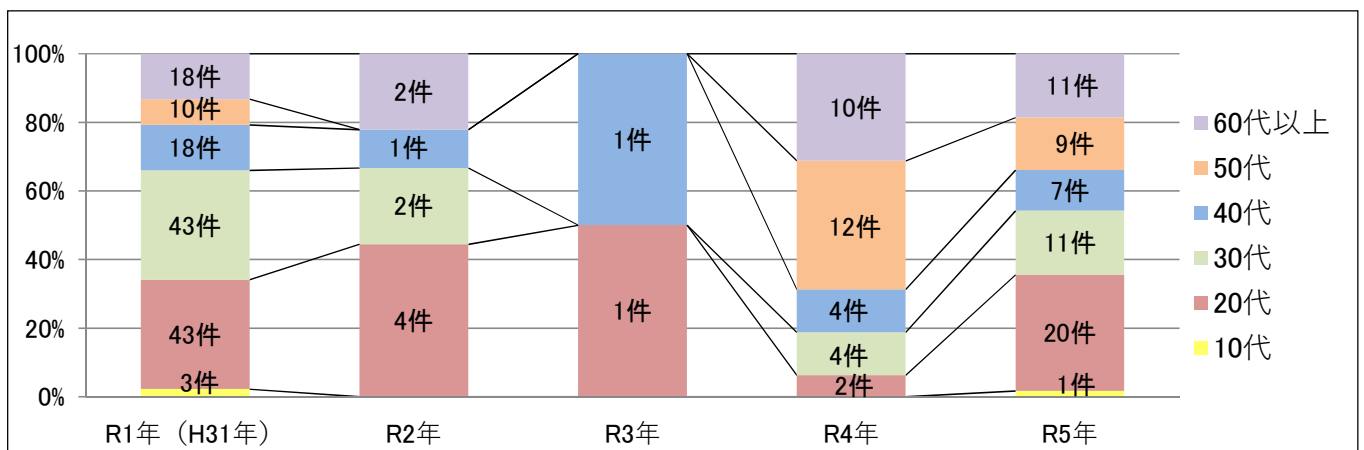
●国籍別摘発状況(航空旅客)



※端数処理のため、数値が合わないことがある。

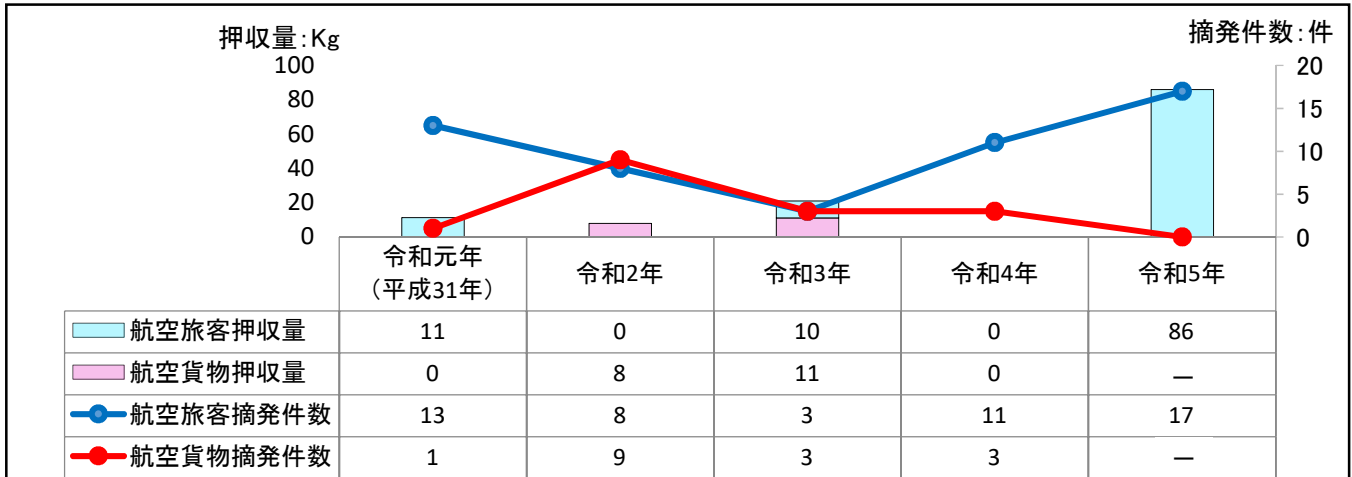
地域	国籍	件数	
中南米 (2か国・16件)	メキシコ	14	
	ドミニカ	2	
欧州 (11か国・14件)	イギリス フランス セルビア	各2	
	イタリア オーストリア スウェーデン チェコ デンマーク フィンランド ポルトガル ルクセンブルク	各1	
	アジア (3か国・13件)	中国(香港)	10
	日本 韓国	3	
	北米 (2か国・10件)	アメリカ	8
	カナダ	2	
中東 (1か国・3件)	トルコ	3	
アフリカ (2か国・2件)	ナイジェリア マダガスカル	各1	
オセアニア (1か国・1件)	オーストラリア	1	
		合計59件	

●年代別摘発状況(航空旅客)

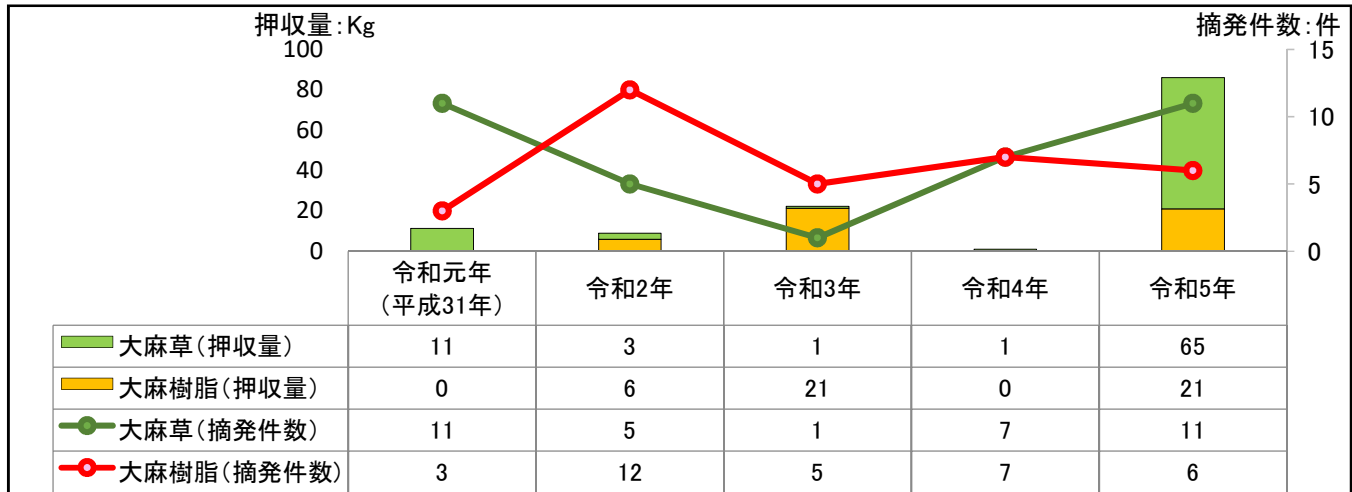


4. 大麻の摘発状況

●形態別摘発実績

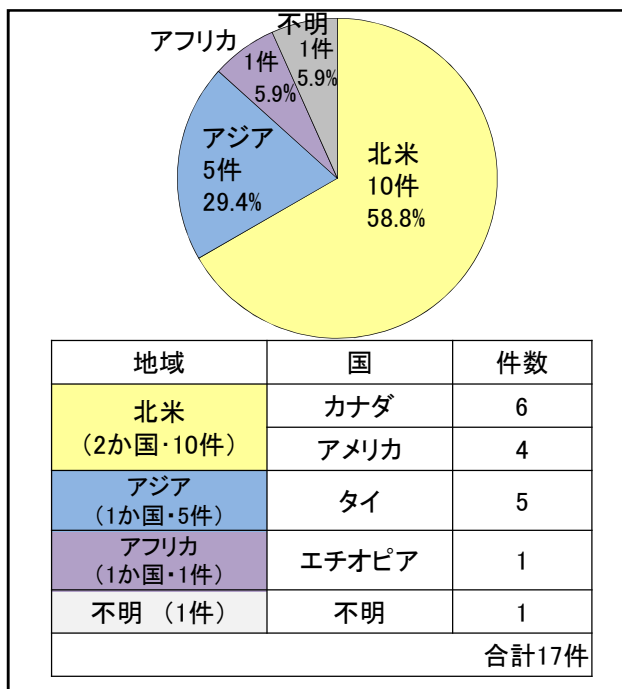


●種別摘発状況

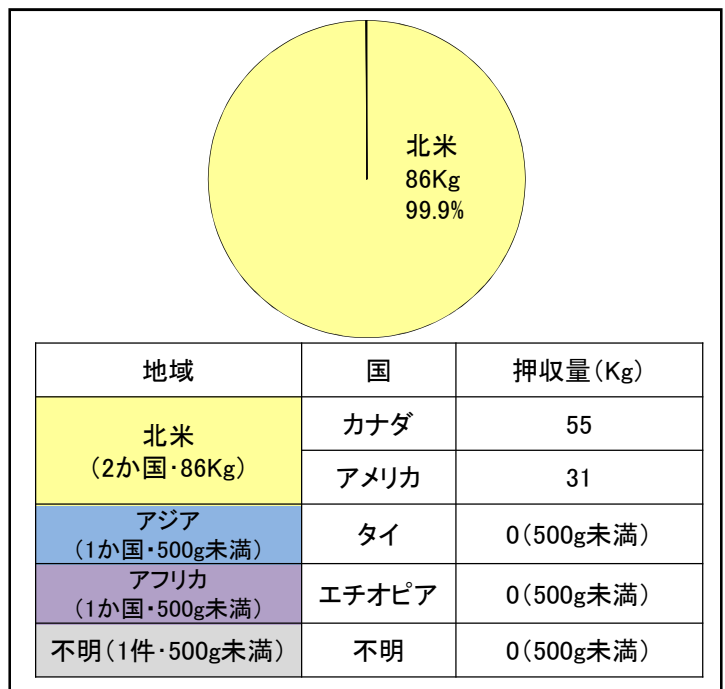


※大麻樹脂については、大麻キッド等の大麻製品を含む

●仕出国別摘発件数



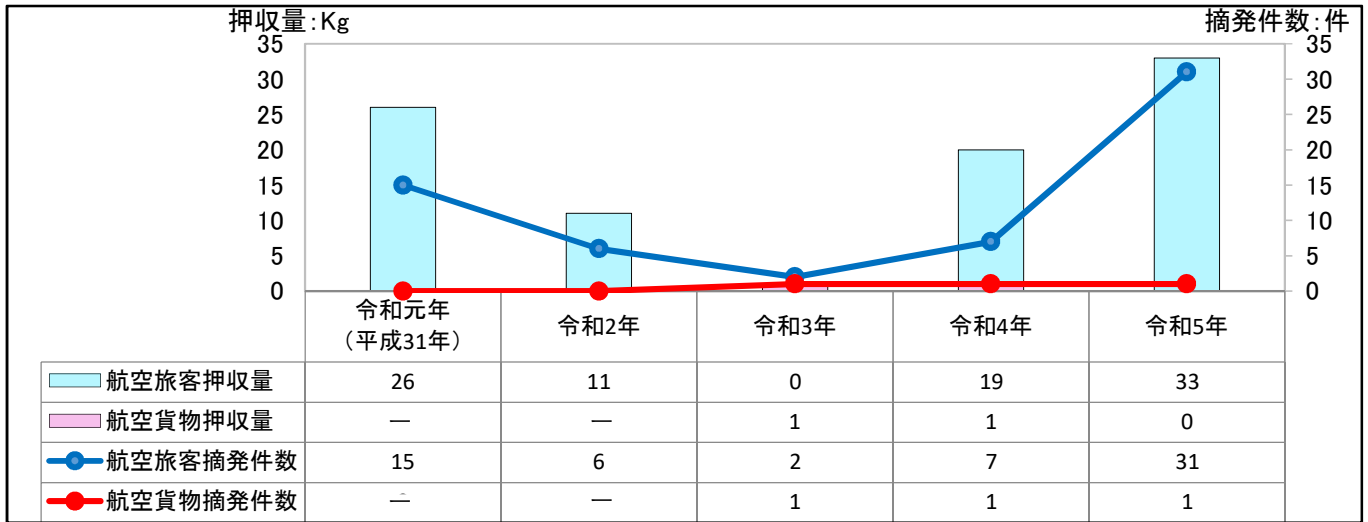
●仕出国別押収量



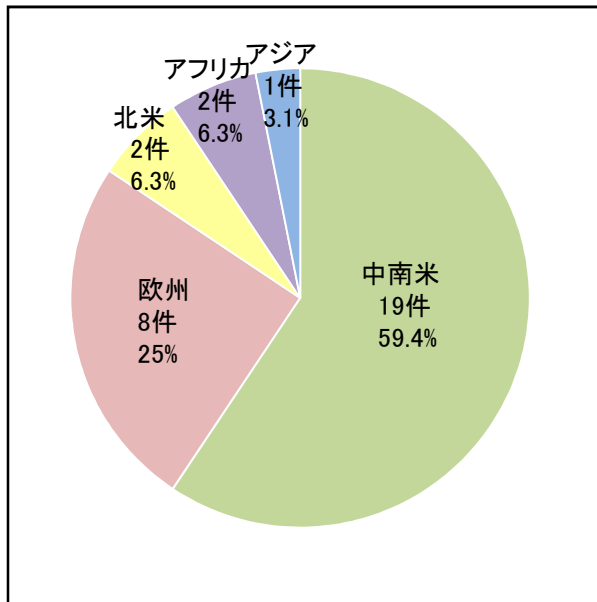
※端数処理のため、数値が合わないことがある。

5. コカインの摘発状況

●形態別摘発実績



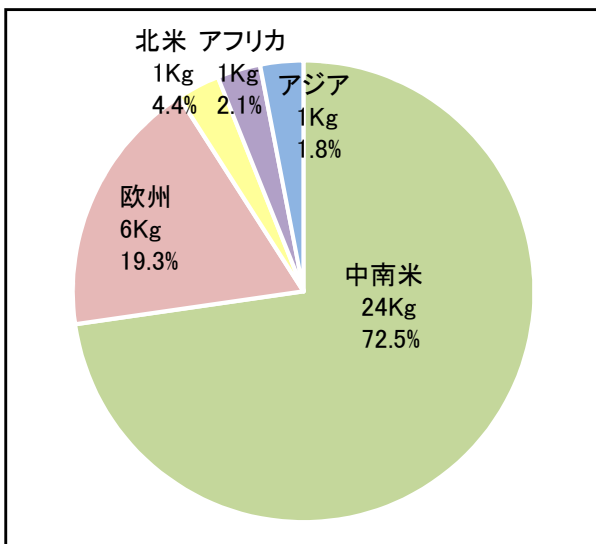
●仕出国別摘発件数



地域	国	件数
中南米 (5か国・19件)	ブラジル	8
	スリナム メキシコ	各4
	ドミニカ	2
	アルゼンチン	1
欧州 (4か国・8件)	フランス	5
	イギリス ドイツ ルクセンブルク	各1
	北米 (2か国・2件)	カナダ アメリカ
アフリカ (2か国・2件)	エチオピア 南アフリカ	各1
アジア (1か国・1件)	タイ	1
		合計32件

※端数処理のため、数値が合わないことがある。

●仕出国別押収量



地域	国	押収量(Kg)
中南米 (5か国・24Kg)	スリナム	13
	ブラジル	5
	ドミニカ	3
	メキシコ アルゼンチン	3
欧州 (4か国・6Kg)	フランス	4
	イギリス ドイツ ルクセンブルク	3
北米 (2か国・1Kg)	カナダ ※アメリカ 10g未満	1
アフリカ (2か国・1Kg)	エチオピア 南アフリカ	1
アジア (1か国・1Kg)	タイ	1

※端数処理のため、数値が合わないことがある。

6. 令和5年の密輸事犯の隠匿事例

①アメリカ来の密輸入

【隠匿事例1】航空貨物の菓子袋2袋内に隠匿していた約4Kgの覚醒剤を発見。（令和5年4月）



【隠匿事例2】航空旅客のスーツケースに隠匿していた約14Kgの大麻草を発見。（令和5年12月）



【隠匿事例3】航空旅客のスーツケースに隠匿していた約25Kgの覚醒剤を発見。（令和5年12月）



②カナダ来の密輸入

【隠匿事例4】 航空旅客のスーツケース2点に隠匿していた約24Kgの覚醒剤を発見。
(令和5年7月)



【隠匿事例5】 航空旅客のスーツケース2点に隠匿していた約24Kgの大麻草を発見。
(令和5年9月)



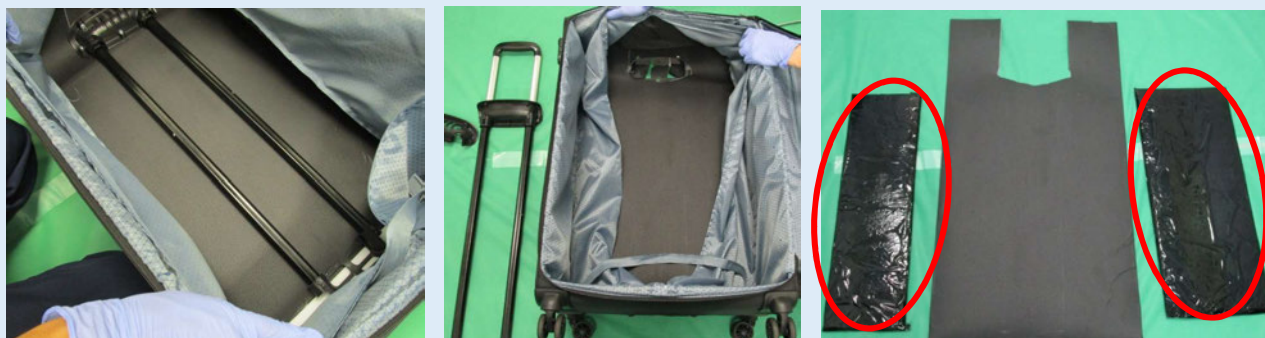
【隠匿事例6】 航空旅客のスーツケースに隠匿していた約15Kgの覚醒剤を発見。
(令和5年10月)



③メキシコ来の密輸入

【隠匿事例7】 航空旅客のスーツケース2点に隠匿していた約7Kgの覚醒剤を発見。

(令和5年6月)



【隠匿事例8】 航空貨物の金属製研磨機様のもの内部に隠匿していた約113Kgの覚醒剤を発見。

(令和5年9月)



【隠匿事例9】 航空旅客のスーツケースに隠匿していた約2Kgのコカインを発見。

(令和5年10月)



④嚥下隠匿による密輸入

【隠匿事例10】 ブラジル来航空旅客から嚥下隠匿していた約1100g(89塊)のコカインを発見。
(令和5年10月)



【隠匿事例11】 南アフリカ来航空旅客から嚥下隠匿していた約1200g(124塊)のコカインを発見。
(令和5年12月)



⑤身辺隠匿による密輸入

【隠匿事例12】 カナダ来航空旅客(男女2名)から身辺に巻き付け隠匿していた約7Kgの覚醒剤を発見。
(令和5年9月)

